

7.令和5年度 月別安全目標

4月	思いやり運転の徹底 ・子ども・高齢者・障がい者等の交通弱者保護 ・交差点付近・横断歩道での歩行者・自転車の確認徹底
5月	かもしれない運転の徹底 ・危険を予測して、減速、徐行、一旦停止 ・事故防止ができてこそプロのドライバー
6月	車両構造上の特性を把握 ・死界に隠れた危険を予測し、オーバーハングや内輪差を考慮した運転 ・慎重に後退し、安全が確保できなければ降車しての目視確認
7月	乗客の車内の安全確保・車内事故防止の徹底 ・シートベルトの装着を徹底し、アナウンス等の活用で車内事故防止 ・なめらかな発進、ブレーキ、ハンドル操作を心がけ、特に高齢者への配慮を徹底
8月	健康管理の重要性 ・健全な生活習慣と健康管理 ・十分な睡眠と過労防止
9月	運行路線、経路の安全確認 ・運行経路の確認を徹底し、慣れた経路でも慎重な運転、場合によっては分岐点手前に停車して再確認 ・同じ道路でも時間帯による危険状況の変化に留意
10月	乗降時の安全確保 ・止まって開扉、閉扉して発進 ・車内ミラーでの再確認の徹底
11月	道路・交通状況に応じた運転 ・慣れた道でも危険箇所を再確認 ・早めのライト点灯
12月	イライラ運転の防止 ・一般ドライバーの手本となり、特に、進路変更はしっかり周囲を確認 ・回復運転は事故の元
1月	冬期に於ける安全運転の心構え ・冬用タイヤの装着とタイヤチェーンを携行し、道路状況に応じた走行 ・運転技量を過信しないのがプロ運転者
2月	危険予測の防衛運転の励行 ・いつも冷静にゆとりを持って思いやり運転 ・予測の連続が防衛運転
3月	気の緩み事故防止の徹底 ・油断大敵、気持ちにメリハリを ・車庫内、直線道路は事故多発、特に注意して事故防止